

かわさきケアデザインコンソーシアム
公開セミナー

看護現場のリアルからつかむ 工学連携のヒント

2025 年

2月26日(水) 午後3時-5時

場所

Kawasaki-NEDO INNOVATION CENTER (K-NIC)

川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階

セミナー
参加費

無料

第1部 「かわさきケアデザイン コンソーシアム」の具体的展望

演者: 白崎功

かわさきケアデザインコンソーシアム 事務局長

昨年11月に開催された「かわさきケアデザインコンソーシアム」のキックオフシンポジウムでは200名を超える参加者があり、その場でも沢山の質問が寄せられました。本コンソーシアムのユニークな点は、必ずしも医療・介護福祉機器メーカーに限ることなく、ケア現場でのイノベーションに関心のある企業や、独自の技術・サービスをビジネスに活かす機会を創出する企業など幅広い業種を会員の対象としていることにあります。今回の公開セミナーでは、来年度からの事業メニュー提供に向け、整備された内容についてご紹介いたします。



第2部 川崎市産業振興財団 サービスメニューのご紹介

演者: 高梨憲爾

川崎市産業振興財団 産業支援部長

起業家と多様な企業・団体との協業のプラットフォームとして多くのパートナー企業から協力をいただいている「起業家オーディション」をはじめ、新産業の創出や知財戦略、海外展開など様々な支援メニューを連携させ提供している「総合的な支援サービス」についてご紹介いたします。

第3部 看護DXへの期待 ～看護現場のご紹介～

講師: 本館教子

聖マリアンナ医科大学病院 副院長 兼 看護部長

座長: 島崎真

ナノ医療イノベーションセンター コミュニケーションマネージャー

患者さんの状況にあわせた行動が常に求められる看護師。計画通りに業務を進めることができる日は少なく、その場で瞬時の状況判断が求められます。複数の業務が重なる多重課題に遭遇することも多く、そのような看護師の日常について、病院看護や訪問看護の日常現場を納めた動画をご覧いただき、概要を紹介します。少子高齢化で広がる患者数と医療従事者数のギャップは今後の健康不安にも繋がるため、そのような状況を改善できる道具やサービスの速やかな開発が求められています。まずは、看護現場の日常を知っていただき、様々なアイデアを思いめぐらせていただければ幸いです。

17:15~

交流会

参加登録

